

東川町の家計簿 東川町の財政を家計にたとえると…

町の予算は「合計額のケタが大きくて実感がわかない」「財政用語が分かりにくい」という声をよく耳にします。家庭の家計と町の財政では仕組みが異なりますが、分かりやすく説明するために、町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成してみました。町の会計は一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは平成30年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明します。

収入		支出	
給料(町税・地方交付税)	53万円	食費(人件費)	10万円
パート収入(使用料・手数料など)	12万円	家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	6万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	18万円	光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	39万円
借金(町債)	12万円	車や家具の修理代(維持補修費)	1万円
貯金の解約(繰り入れ金)※1	4万円	子供たちへの仕送り(特別会計への繰出金、広域連合への負担)	7万円
財産(土地や家)の貸し付けなど(財産収入)	1万円	借金の返済(住宅ローンなどの返済による町債費)※2	19万円
合計	100万円	家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	14万円
		貸し付け金(貸し付け金)	1万円
		貯金	3万円
		合計	100万円

収入	支出	(参考) H29度数値
家族全員の収入 65万円	生活費 63万円	64万円
家族全員の収入 + 親からの仕送り 83万円	生活費+借金返済 82万円	82万円
	財産づくり 14万円	15万円
	親戚などへの支援 1万円	1万円

収入の柱は給料の53万円とパートの12万円、それと親からの仕送り18万円です。支出は日々の生活費として65万円、住宅ローンの返済などに19万円、家の増改築費に14万円かかっています。

■平成30年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込み

基金(貯金)

一般会計	(単位: 百万円)	(H29末)
財政調整基金	230	261
減債基金	1,063	1,240
公共施設整備基金	167	182
地域振興基金	36	36
地域福祉基金	3	3
写真の町文化基金	127	127
総合体育施設建設基金	16	16
「写真の町」ひがしかわ株主基金	122	88
小西健二奨学基金	30	30
国営緊急農地再編整備事業基金	30	20
小計	1,824	2,003
土地開発基金	115	114
備荒資金	86	86
一般会計合計	2,025	2,203
特別会計		
公共下水、診療所	0	0

町債(借金)

一般会計	(単位: 百万円)	(H29末)
建物、道路の整備などに借りたもの(公営住宅等を除く)		
30年度末残高見込	8,897	9,341
うち国の交付税で補てんされる金額	▲5,570	▲5,579
差し引き残高(町が負担する額)	3,327	3,762
財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)		
30年度末残高見込	2,124	2,129
うち国の交付税で全額を補てん	▲2,124	▲2,129
差し引き残高(町が負担する額)	0	0
公営住宅等の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)		
30年度末残高見込	1,382	1,423
入居者等の使用料により全額を補てん	▲1,382	▲1,423
差し引き残高(実質的な町の負担額)	0	0
特別会計		
下水道事業分	716	735
診療所分	343	361
うち国の交付税で補てんされる金額	▲564	▲584
差し引き残高(町と受益者の負担額)	495	512

★町債(借金)の返済に充てる財源について

差し引き残高の合計(実質的な借金の合計額)		3,822
財源内訳	減債基金(借金返済用に積立てた貯金)	1,063
	一般財源(借金返済用に用意するお金)	2,759